

# 梅木 真寿郎

教授

研 究 業 績

2019年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（共）	「第7章 障害者にかかわる諸機関」『学びやすい障害者福祉論 第2版』硯川真旬編集代表、金芳堂、36～41頁	2005. 4
著書（共）	「第5章第2節 エコシステム構想と局面展開」『ソーシャルワークと生活支援方法のトレーニング』太田義弘・中村佐織編、中央法規、89～93頁	2005. 8
著書（共）	「第1章 社会福祉の理論」『社会福祉の課題と研究動向』硯川真旬編、中央法規、1～9頁	2005. 9
著書（共）	「第14章 ソーシャルワークのサービス評価」『ソーシャルワーク実践と支援科学』太田義弘編、相川書房、185～197頁	2009. 3
著書（共）	「第21章 大林宗嗣ー主体的・自治的な大衆社会への「民衆の覚醒」」『人物でよむ社会福祉の思想と理論』室田保夫編、ミネルヴァ書房、171～177頁	2010. 1
著書（共）	「第10章 社会福祉政策の関連領域の実態とは」『福祉とは何だろう What is well-being?』加藤博史編、ミネルヴァ書房、155～171頁	2011. 2
著書（共）	「第11章 社会福祉政策の動向と課題」『福祉とは何だろう What is well-being?』加藤博史編、ミネルヴァ書房、173～189頁	2011. 2
著書（共）	「居宅介護支援事業所におけるスーパービジョンの実際」吉弘淳一・横井一之編、建帛社、135頁～143頁	2015. 3
著書（共）	室田保夫、倉持史朗、蜂谷俊隆編著『新・基礎からの社会福祉① 社会福祉』（ミネルヴァ書房）、梅木真寿郎「第1章第1節 高齢者の抱える問題とその取り組み」（4～7頁）；「第6章 社会福祉と法制度の関係」（77～94頁）；「第7章第3節 子ども家庭福祉」（104～107頁）；「第12章第1節～第4節 職種名称からみた社会福祉の担い手」（179～195頁）；	2018. 4
論文（単）	「エコシステムの視座における高齢者アセスメントの再考ー介護保険要介護認定における審査方法の研究」、修士論文（龍谷大学大学院社会学研究科）、1～80頁	2003. 3
論文（単）	「エコシステムの視座における高齢者アセスメントの再考ー	2004. 3

	介護保険要介護認定における審査方法の研究 I」『龍谷大学大学院研究紀要 社会学・社会福祉学』第 11 号、55～71 頁	
論文(単)	「竹内愛二の文献における価値の変遷ーソーシャルワークへの今日的課題」『日本福祉図書文献学会研究紀要』第 3 号、3～14 頁	2004. 9
論文(単)	「ソーシャルワーク実践の固有の視点を求めてーエコシステムの視座における支援過程の構造機能的理解」『同志社大学大学院社会福祉学論集』第 19 号、20～26 頁	2005. 3
論文(単)	「痴ほう(認知症をもつ)高齢者の発言とその応答の方法に関する研究ーケアにおける「時間」を中心に」『花園大学社会福祉学会 福祉と人間科学』第 15 号、74～92 頁	2005. 3
論文(単)	「大林宗嗣の思想変遷における布石と『セツツルメントの研究』への胎動ーキリスト教・北米移民・大正デモクラシーを中心に」『同志社大学社会福祉学会 同志社社会福祉学』第 20 号、59～69 頁	2006. 12
論文(単)	「大林宗嗣とキリスト教ー神・自然・人間・社会における霊の交渉」『同志社大学社会福祉学会 同志社社会福祉学』第 21 号、62～74 頁	2007. 12
論文(単)	「ケアマネジメント実践における危機管理ーソーシャルワークの視点からのネットワークング」『同志社大学大学院社会福祉学論集』第 22 号、1～13 頁	2008. 3
論文(単)	「大林宗嗣のセツツルメント思想ー」『同志社大学社会学会 評論・社会科学』第 86 号、27～65 頁	2008. 9
論文(単)	「大林宗嗣とロバート・オウエンー労働者教育を通じた社会事業理論の形成」『同志社大学社会福祉学会 同志社社会福祉学』第 22 号、36～46 頁	2008. 12
論文(単)	「大林宗嗣研究の動向と課題」『花園大学社会福祉学会 福祉と人間科学』第 19 号、71～91 頁	2009. 3
論文(単)	「大林宗嗣の女性福祉への視座ー女性の自由と権利主体をめぐって」『同志社大学大学院社会福祉学論集』第 22 号、1～14 頁	2009. 3
論文(単)	「大林宗嗣師と優生思想ー産児制限論と劣勢遺伝の根絶」『日本福祉図書文献学会研究紀要』第 8 号、9～28 頁	2009. 9
論文(単)	「大林宗嗣の社会事業理論の構想ー「大衆の知的覚醒」を介したマルクス思想の受容」『同志社大学社会福祉学会 同志社社会福祉学』第 23 号、47～61 頁	2009. 12
論文(単)	「大林宗嗣の民衆娯楽観ー大衆文化の創造と社会教育へのまなざし」『花園大学社会福祉学会 福祉と人間科学』第 20 号、	2010. 3

	71～91 頁	
論文(単)	「「セツルメント」と「隣保事業」の用語をめぐって—我が国における 1920 年代の導入と定着の過程を通して」『同志社大学大学院社会福祉学論集』第 24 号、1～13 頁	2010. 3
論文(単)	「賀川豊彦のセツルメントの特質—比較研究を通じた共通点と差異について」『日本福祉図書文献学会 日本福祉図書文献研究』第 9 号、39～55 頁	2010. 11
論文(単)	「武藤長蔵のアーノルド・トインビー研究—トインビー思想の史的限界と今日的意義」『日本キリスト教社会福祉学会 キリスト教社会福祉研究』第 43 号、46～57 頁	2011. 11
論文(単)	「個人化社会における自立と依存に関する一考察—「無縁社会」から「成熟依存社会」への転換」『岐阜経済大学論集』第 45 巻第 3 号、51～70 頁	2012. 3
論文(単)	「地域実践教育における評価システムの現状と課題—松本大学コミュニティ・ビジネス型地域連携教育と広島経済大学・興動館教育プログラムの取り組みから学ぶべきこと」『岐阜経済大学地域経済研究所 地域経済』第 31 集、117～127 頁	2012. 3
論文(単)	「大林宗嗣の厚生文化政策—同志社厚生学における教育活動をめぐって」『キリスト教社会問題研究』第 62 号、171～197 頁	2013. 12
論文(単)	「ひとり親家庭に対するスクールソーシャルワーク実践と福祉政策の課題—『教育行政循環システム』と『福祉行政循環システム』の統合的マクロ実践」『花園大学社会福祉学部研究紀要』第 25 号、1～21 頁	2017. 3
論文(単)	「竹中勝男の基督教社会事業—構成概念と思想をめぐって」『キリスト教社会問題研究』第 66 号、73～106 頁	2017. 12
論文(単)	「書評 藤井渉著『障害とはなにか—戦力ならざる者の戦争と福祉』」『社会福祉学部紀要』第 27 号、79～83 頁	2018. 3
論文(単)	「AI 社会は、何をもちたらすのか」『花園大学人権教育研究センター報』第 33 号、2018 年 4 月、11～12 頁	2018. 4
論文(単)	「食卓を通じたつながり、そして連帯」『花園大学人権教育研究センター報』第 34 号、39～40 頁	2018. 12
論文(単)	「満蒙開拓平和記念館と非戦の誓い」『花園大学人権教育研究センター報』第 34 号、71～74 頁	2018. 12
報告書(共)	『岐阜県絆再生による安全・安心な地域づくり調査研究事業実施報告書』菊本舞・松久宗丙、岐阜経済短期大学まちなか共同研究室、7～13 頁・21～34 頁	2012. 3
その他(共)	『国民福祉辞典』、金芳堂、1～2 頁	2003. 3

その他（単）	「社会事業史学会第12（通算38）回大会報告」『同志社大学社会福祉学会 同志社社会福祉学』第24号、121頁	2010. 12
その他（単）	「2012年度岐阜経済大学地域経済研究所公開講演会報告 共にある包摂型社会の構築は可能なのか？—若年者の薬物乱用問題と回復支援」『岐阜経済大学地域経済研究所 地域経済』第32集、83～84頁	2013. 3
その他（共）	「長良川鉄道視察調査報告—岐阜県下の公共交通の取り組み：生活権の保障をめぐる」『地域経済』梅木真寿郎、大野貴司、第33集、105～108頁	2014. 3
その他（単）	「精神疾患と岩倉の地域医療の歴史」『花園大学人権教育センター報』40～42頁	2014. 12
その他（単）	「暴力の連鎖を断ち切るために—後藤健二氏の死を悼む」『花園大学人権教育研究センター報』第27号、27頁～28頁	2015. 4
その他（単）	「人としての尊厳ある生とは—あいりん地区を通して見えるもの」『花園大学人権教育研究センター報』第28号 47頁～51頁	2015. 12
その他（共）	「地域生活定着支援センターの実態」春名苗、梅木真寿郎、川並利治『福祉と人間科学』第27号、2017年3月、3～11頁	2017. 3
その他（共）	「多様な存在そして価値と向き合うということ」『花園大学人権教育研究センター報』第31号、13～14頁	2017. 4
その他（共）	「条件付きの地域振興の影」『花園大学人権教育研究センター報』第32号、38～39頁	2017. 4
その他（共）	「社会事業史学会第45回大会報告」『同志社社会福祉学』第31号、105～106頁	2017. 12
その他（共）	「書評 藤井渉著『障害とはなにか—戦力ならざる者の戦争と福祉』」『社会福祉学部紀要』第27号、79～83頁	2018. 3
その他（共）	「AI 社会は、何をもたらすのか」『花園大学人権教育研究センター報』第33号、2018年4月、11～12頁；	2018. 4
その他（共）	「食卓を通じたつながり、そして連帯」『花園大学人権教育研究センター報』第34号、2018年12月、39～40頁；	2018. 12
その他（共）	「満蒙開拓平和記念館と非戦の誓い」『花園大学人権教育研究センター報』第34号、2018年12月、71～74頁；	2018. 12
口頭発表（単）	「21世紀の施設展望」、日本福祉士教育学会第1回全国	1999. 12

(学会報告)	大会、京都府立医科大学短期大学部、大会抄録 5～6 頁	
口頭発表 (単) (学会報告)	「竹内愛二師の文献について－専門社会事業の社会的考察と新実存主義の視点」、日本福祉図書文献学会第 6 回全国大会、日本文理大学、大会要旨集 19 頁	2003. 11
口頭発表 (単) (学会報告)	「ソーシャルワーク実践の科学科に向けて－社会福祉固有の研究方法の検討」、花園大学社会福祉学会第 4 回大会、花園大学、大会要旨集 19 頁	2004. 2
口頭発表 (単) (学会報告)	「痴ほう性 (認知症) 高齢者の発言とその応答の方法に関する研究 I－ケアにおける「時間」を中心に」、日本社会福祉学会第 52 回全国大会、東洋大学、報告要旨集 251 頁	2004. 10
口頭発表 (単) (学会報告)	「エコマップにおける局面展開－認知症高齢者に対する状況認識の試み」、日本社会福祉実践論理学会第 22 回全国大会、同志社大学、報告要旨集 38 頁	2005. 6
口頭発表 (単) (学会報告)	「社会福祉理論の分析方法に関する研究－現在までの動向と今後の展開」、日本社会福祉学会第 53 回全国大会、東北福祉大学、報告要旨集 78 頁	2005. 10
口頭発表 (単) (学会報告)	「主体形成とコミュニティ・ソーシャルワークケアマネジメント実践において大林宗嗣に学ぶべきもの」、同志社社会福祉学会第 20 回大会、同志社大学	2005. 12
口頭発表 (単) (学会報告)	「大林宗嗣師の文献について－その思想と『セツルメントの研究』への軌跡」、日本福祉図書文献学会第 9 回全国大会、関西福祉大学、大会要旨集 40～41 頁	2006. 9
口頭発表 (単) (学会報告)	「大林宗嗣社会事業理論の研究－地域組織化の軌跡」、日本社会福祉学会第 54 回全国大会、立教大学、報告要旨集 88 頁	2006. 10
口頭発表 (単) (学会報告)	「大林宗嗣の思想形成に関する－考察－福音から社会への変遷過程」、日本社会福祉学会第 55 回全国大会、大阪市立大学、報告要旨集 (CD-ROM)	2007. 9
口頭発表 (単) (学会報告)	「大林宗嗣の思想形成に関する－考察 (2)－イギリス・ロマン主義から社会理想主義へ」、日本社会福祉学会第 56 回全国大会、岡山県立大学、報告要旨集 (CD-ROM) 149 頁	2008. 10
口頭発表 (単) (学会報告)	「賀川豊彦師の文献について－キリスト教社会福祉からセツルメント実践」、日本福祉図書文献学会第 12 回全国大会、聖母女学院短期大学、報告要旨集 14～17 頁	2009. 9
口頭発表 (単) (学会報告)	「大林宗嗣と優生思想－啓蒙思想に基づく」、日本社会福祉学会第 57 回全国大会、法政大学、報告要旨集 (CD-ROM) 164～165 頁	2009. 10
口頭発表 (単)	「大林宗嗣の民衆娯楽観－大衆文化の創造と社会教育を	2010. 5

(学会報告)	通じた主体形成の視座」、社会事業史学会第12回大会、関西学院大学、63～64頁	
口頭発表(単) (学会報告)	「アーノルド・トインビーの思想基盤ーわが国のセツルメントに及ぼした経済的視座と愛について:武藤長蔵を媒介にして」、日本キリスト教社会福祉学会第51回大会、同志社大学、38～39頁	2010. 6
口頭発表(単) (学会報告)	「大林宗嗣における女性福祉論ー女性解放に向けた女子教育・婦人労働のあり方について」、日本社会福祉学会第58回全国大会、日本福祉大学、報告要旨集(CD-ROM)98頁	2010. 10
口頭発表(単) (実践報告)	「ケアハウスの役割と機能の変容」、全国老人福祉施設協議会横浜研究会議、パシフィコ横浜、271頁	2002. 10
口頭発表(単) (実践報告)	「認知症高齢者の発言とその応答の方法に関する研究Ⅱープロセティック・アプローチ適用の試み」、洛和会ヘルスケア学会、音羽病院附属看護専門学校	2005. 6
口頭発表(単) (視察報告)	「「ゼロから立ち上げる」興動館教育プログラムが目指すものー学生の主体的活動を通じた人間力開発プログラムの仕掛け」、岐阜経済大学地域経済研究所主催実践型教育実施校視察報告会	2011. 2
口頭発表(単) (視察報告)	「地域実践教育における現状と課題ー松本大学等の事例を中心に」、岐阜経済大学地域経済研究所主催実践教育・地域貢献に関する公開研究会	2012. 2
口頭発表(単)	「竹中勝男師の文献についてーキリスト教社会事業思想を中心に」日本福祉図書文献学会、長崎国際大学、	2017. 9
講演(単)	「日本社会福祉史の概観」、同志社大学社会学部開講科目 社会福祉の歴史と思想 ゲストスピーカー	2009. 11
講演(単)	「ワーキングプアの現状と課題について」、岐阜県立大垣養老高等学校	2010. 9
講演(単)	「日本の社会保障(1)ー少子高齢化、ジェンダーバイアス、現代の貧困における課題」、大垣市教育委員会主催第5回かがやきカレッジ、岐阜経済大学	2010. 10
講演(単)	「日本の社会保障(2)ー公的介護保険の現状と課題」、大垣市教育委員会主催第6回かがやきカレッジ、岐阜経済大学	2010. 10
講演(単)	「人間と社会」、(財)介護労働安定センター岐阜支所主催2011年度介護福祉士受験対策準備講習	2011. 10
講演(単)	「進学サポート講座ー面接の受け方」、関市立関商工高等学校キャリア教育講座、関市文化会館	2012. 8
講演(単)	「ケアプランの基本的な考え方」、(財)介護労働安定セン	2012. 8

	ター岐阜支所主催ケアサポート講習会、(福)樹心会揖斐川げんき村	
講演(共)	「共にある包摂型社会の構築は可能なのか?—若年者の薬物乱用問題と回復支援」、岐阜経済大学地域経済研究所主催公開講演会 第2部鼎談パネラー兼コーディネーター、岐阜経済大学講堂	2012. 12
講演(単)	「チームアプローチの方法と課題」、(財)介護労働安定センター岐阜支所主催ケアサポート講習会、(福)樹心会揖斐川げんき村	2012. 12
講演(単)	「高齢者虐待と身体拘束」、(財)介護労働安定センター岐阜支所主催ケアサポート講習会、(福)樹心会揖斐川げんき村	2013. 1
講演(単)	「わかりやすいケアプランの立て方」、(財)介護労働安定センター岐阜支所主催介護労働講習短期専門コース、ワークプラザ岐阜大会議室	2013. 6
講演(単)	「リスクマネジメントと苦情対応—「安心」と「尊厳」を保つために」、(財)介護労働安定センター岐阜支所主催ケアサポート講習会、地域密着型特定施設入所者生活介護(なるがの憩いの家)	2013. 8
講演(単)	「介護支援分野の受験対策について」、(財)介護労働安定センター岐阜支所主催介護労働講習介護支援専門員受験対策講座、ワークプラザ岐阜大会議室	2013. 9
講演(単)	「つながりで拓く地域の課題—共に生き、共に担う協働の地域づくり」、第3回揖斐川町社会福祉大会、揖斐川町中央公民館講堂	2013. 9
講演(単)	「保健医療分野の受験対策について」、(財)介護労働安定センター岐阜支所主催介護労働講習介護支援専門員受験対策講座、ワークプラザ岐阜大会議室	2013. 9
講演(単)	「福祉分野の受験対策について」、(財)介護労働安定センター岐阜支所主催介護労働講習介護支援専門員受験対策講座、ワークプラザ岐阜大会議室	2013. 9
講演(単)	「セツルメント運動と人間性の解放: その功罪から学ぶべきこと」 花園大学人権教育研究会第92回例会、花園大学教堂	2015. 7
講演(単)	「日本の社会福祉の歴史—人権の剥奪過程と人間性の解放」同志社大学尋真館106教室	2015. 12
社会的活動他	日本社会福祉学会第64回秋季大会、歴史3(全体総括者)、佛教大学7号館402教室、	2016. 9
講師	校内研修講師	2018. 8

	与謝野町立加悦中学校(テーマ「不登校の未然防止— 生徒そして家族の理解を中心に」)、	
講 師	2018年8月2日 与謝野町立桑飼小学校(テーマ「児童虐待：生を蝕む福祉的課題」)、	2018. 8
講 師	2018年8月2日 与謝野町立与謝小学校(テーマ「教師と子ども関係づくり—信頼という架橋」)	2018. 8
講 師	2018年8月8日 与謝野町立岩滝小学校(テーマ「児童虐待：生を蝕む福祉的課題」)	2018. 8
講 師	与謝野町立加悦小学校(テーマ「子どもの貧困の現状と課題—子どもの夢を貧困に潰させないために」)、	2018. 8
講 師	与謝野町立市場小学校(テーマ「児童虐待：生を蝕む福祉的課題」)	2018. 9

---